

J-クレジット制度
排出削減プロジェクト・
森林管理プロジェクト
妥当性確認報告書

プロジェクトの名称：

染色工場におけるボイラーの更新（A 重油→都市ガス）

妥当性確認 機関名	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
--------------	--------------------------

発行日 2015年 12月 16日

1 妥当性確認機関の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

※ 「判断の根拠」に関する項目については、根拠としたプロジェクト計画書等の章番号、該当頁等を記載するとともにその妥当性について記載すること。(以下、本文書を通じて同様)

機関名称	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
プロジェクトの関係者との利害 抵触	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
判断の根拠	一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センターの規程に基づき、検証機関とプロジェクト実施事業者及び審査員とプロジェクト実施事業者との利害相反分析を行い、利害関係のないことを確認した。

2 プロジェクト実施者の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

プロジェクト代表実施者 ※プログラム型プロジェクトの場合、「プログラム型運営・管理者」を記載すること。	愛媛県繊維染色工業組合
プロジェクト実施者（代表者以外） ※プログラム型プロジェクトの場合、「削減活動の実施者」を記載すること。	—
低炭素社会実行計画への参加実態 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
温対法特定排出者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
省エネ法報告対象者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし

3 妥当性確認結果（総括）

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

妥当性確認実施期間	□プロジェクトの実施前 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの実施後	
プロジェクト名	染色工場におけるボイラーの更新（A 重油→都市ガス）	
認証予定期間 ※実施要綱に定められた認証対象期間内に設定されていることを確認して記載すること。	2016年 1月 1日 ～ 2021年 3月 31日	
適用方法論	方法論番号	EN-S-001 Ver. 1.1
	方法論名称	ボイラーの導入
想定排出削減量・想定吸収量	認証予定期間の合計値	283 t-CO ₂
プロジェクト実施者と合意した妥当性確認の前提	妥当性確認の基準 ※適用した制度文書類のバージョンを記載すること	文書名：実施要綱 Ver.2.2 文書名：実施規程（プロジェクト実施者向け） Ver.2.1 文書名：実施規程（審査機関向け） Ver.1.1 文書名：モニタリング・算定規程 Ver.2.2
	目的 ※プロジェクトの実施によって、プロジェクト計画書に記載された削減量・吸収量が実際に生じる見込みに対する評価を行うことも目的に含めて記載すること	プロジェクト事業者が作成したプロジェクト計画書に記載された内容について、上記記載の実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に準拠していること、プロジェクト計画書に記載された削減量が実際に生じる見込みに対する評価も含めて確認することを目的とした。□

	<p>範囲 ※妥当性確認の範囲がプロジェクト計画書の範囲であることを記載すること</p>	<p>プロジェクト計画書に記載された本プロジェクトに係る範囲</p>
	<p>保証水準 ※妥当性確認の結論を意見として表明する際に採用した水準を記載すること</p>	<p>合理的保証</p>
<p>妥当性確認手続 ※現地審査の実施有無について記載すること ※また、実際に実施した手続、スケジュールについて、サンプリング手法も含めて記載すること</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/>現地審査を実施した（2015年11月27日に訪問） <input type="checkbox"/>サンプリングで現地審査を実施した（ 年 月 日に訪問） <input type="checkbox"/>現地審査を実施していない</p> <hr/> <p>2015年11月27日に現地審査を実施し、当センターのチェックシートに基づき現地目視、根拠資料の確認、関係者へのインタビューを行った。□</p>
<p>修正・指摘事項及び解決方法 ※4における結果を総括し、排出削減量又は吸収量に影響を与える可能性のある、主な指摘事項について記載すること</p>		<p>妥当性確認審査にて発見された排出削減量に影響を与える主な修正・指摘事項は、下記のとおりである。プロジェクト関係者から追加資料の提出、記載の修正等の対応により、当該事項全てが解決されたことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト実施前後のボイラーの導入時期、稼働開始時期の確認を実施し、根拠資料とともに見直されたことを確認した。 プロジェクト実施後の燃料単価、設備投資額の確認を実施し、根拠資料とともに見直されたことを確認した。 認証予定期間に合わせ、排出削減計画の排出削減量を記載することを指摘し、適切に記載がされたことを確認した。
<p>妥当性確認結果</p>	<p>確認結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>無限定適正 <input type="checkbox"/>不適正 <input type="checkbox"/>意見不表明</p>
	<p>意見・結論 ※4における結果を総括し、確認結果における意見の理由を記載すること</p>	<p>事業者が作成したプロジェクト計画書（プロジェクト名：染色工場におけるボイラーの更新（A重油→都市ガス））が、実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に基づいて作成されていることを確認し、すべての重要な点において適正であると認める。</p>